



地域で支える、新しいカタチ



学校の部活動、新時代へ

少子化が進み、市内の児童生徒数は年々減少しています。

その影響は、学校生活のさまざまな場面に及んでおり、部活動も例外ではありません。

これまで当たり前が続いてきた活動が、学校の規模や地域によっては難しくなっている現状があります。

一方で、部活動は子どもたちにとって、仲間と目標に向かって挑戦し、成長する大切な場です。

そうした思いを未来につなぐため、いま部活動の支え方そのものを見直す動きが始まっています。



保護者 近本慎一さん
 学校だけでは難しい部分も、地域の方が関わり、必要に応じて経験のある指導者と連携することで、安心して活動できると感じました。外部の知見に触れることは、子どもにとって大きな刺激になったのではないかと思います。



参加した生徒 近本翔さん
 学校の水泳競技部では、一人での練習になることもありましたが、実証事業では他校の仲間と一緒に活動でき、励ましながら取り組めたのが楽しかったです。さまざまな指導者に教わることで意欲も高まり、新しい気付きも増えました。

令和5年・6年に行われた
**実証事業に参加してみても、
 どうだった？**

部員が集まらない 部が存続できない学校も

少子化により学校の規模が縮小し、部員数が減少して、活動を継続することが難しくなっている学校があります。特に団体競技では、試合に必要な人数がそろわず、実施できる種目が限られるケースも見られます。複数校による合同チームなどの工夫により活動を続けている例もありますが、移動の負担や練習場所の確保、仲間づくりといった課題が残ることもあり、学校だけでの対応には限界が見え始めています。

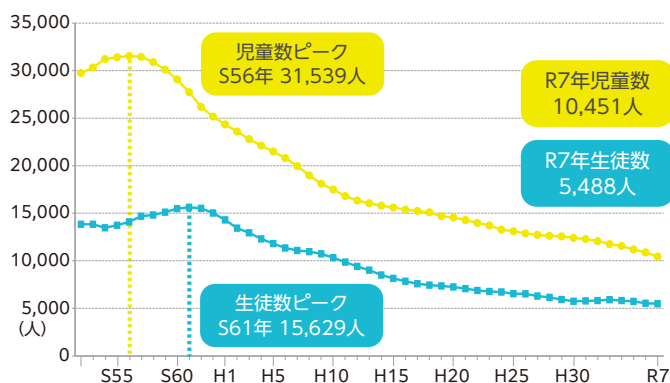
「地域で活動を支える」という新しい考え方

こうした状況を受け、下関市では令和5年度から、新たな地域クラブ活動の実証事業を行っています。併せて、下関市部活動地域移行推進委員会を設置し、有識者や関係団体等と意見交換を重ねながら、子どもたちにとって、よりよい活動のあり方について検証を進めてきました。

学校と地域がそれぞれの役割を担い、連携して活動を支えていく。子どもたちの活動の場、成長の場を維持するだけでなく、選択の幅を広げ、地域によって格差が生まれない新しい活動のあり方が、いままさしずつ形になり始めています。

児童生徒数の推移

● [小学校]児童数 ● [中学校]生徒数



学校規模別の部活動 種目数

生徒数200人以上の学校 / 11校

活動人数平均	309人
部活動種目数	11種目
生徒数平均	402人
部活動加入率	77%

例：川中中学校

- ソフトテニス
- バスケットボール
- バレーボール
- サッカー
- 陸上競技
- 剣道
- 美術
- 軟式野球
- 卓球
- 吹奏楽
- その他文化

生徒数200人未満の学校 / 12校

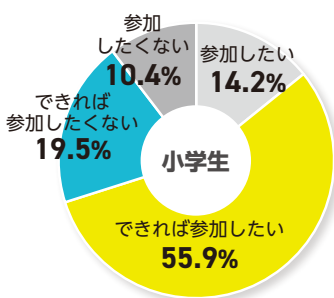
活動人数平均	74人
部活動種目数	5種目
生徒数平均	93人
部活動加入率	80%

例：名陵中学校

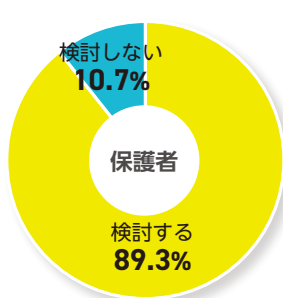
- ソフトテニス
 - 吹奏楽
 - 美術
 - 軟式野球
 - バドミントン
- ※学校によって、部活動種目は異なります。

意識調査

Q 休日の地域クラブ活動に参加したい？



Q 地域クラブに参加させることを検討しますか？



部活動加入率

部活動加入者数 4,280人

中学校生徒数 5,530人

加入率 **77.4%**

※令和6年度実績。



地域クラブ関係者・中学校教員 坂下喜一 教諭

子どもたちが活動できる場を確保することは、学校も地域クラブも共通の願いです。少子化により学校単独での活動が難しくなる中、地域の大人が関わりながら、多様な人と関わる経験は、心身の成長や社会性の育成にもつながると感じています。

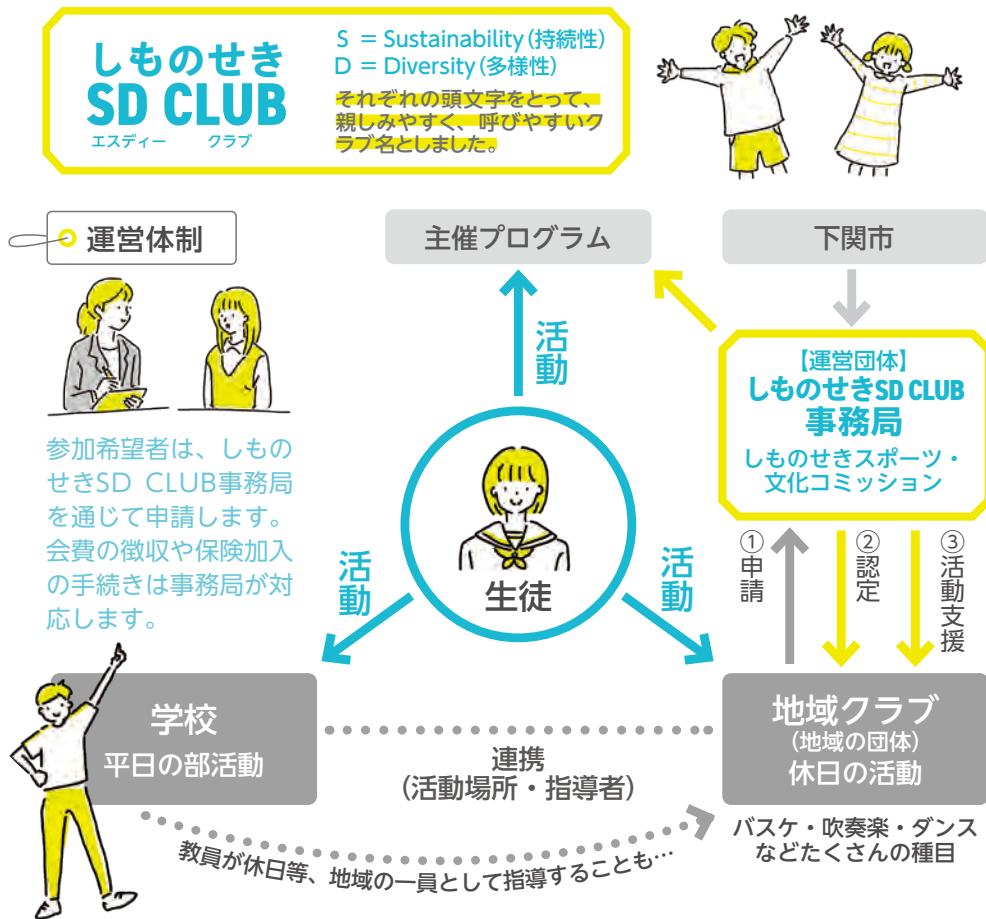
下関市が目指す 新しい部活動のカたち

部活動を取り巻く環境が変化中、下関市では「子どもたちの活動の場をなくさない」「選択肢を準備する」「地域格差をなくす」ことを念頭に、部活動の地域展開に取り組んでいます。目指しているのは、これまで大切にされてきた部活動の価値を引き継ぎながら、学校を含めた地域全体で、関係者が連携して、無理のない形で支えていくこと。では、具体的に何が変わり、何がこれまで通りなのでしょうか。



ここが変わる！ 部活動のカたち

一言でいうと、「学校を含めた地域全体で、地域クラブ化を推進する」です。下関市の目指す地域クラブとは、誰もが参加可能で、継続的に親しむことができ、幅広い選択肢の中から選ぶことができるもの。地域全体が受け皿となっており、「持続可能で多様なスポーツ・文化芸術活動の環境を確保」することを目指しています。



しものせき SD CLUB
エスディー クラブ

S = Sustainability (持続性)
D = Diversity (多様性)
それぞれの頭文字をとって、親しみやすく、呼びやすいクラブ名としました。

運営体制



参加希望者は、しものせきSD CLUB事務局を通じて申請します。会費の徴収や保険加入の手続きは事務局が対応します。

学校
平日の部活動

地域クラブ
(地域の団体)
休日の活動
バスケ・吹奏楽・ダンスなどたくさんの種目

令和9年度以降は、放課後の時間に、生徒が参加できる学校部活動を行い、地域から外部指導者を招くなど、学校と地域の連携を進めていきます。

教育委員会 学校部活動の今後の方針

休日	令和8年度末で廃止 令和9年度から地域展開
平日	令和9年度以降も当面継続

このため、学校と地域が連携した活動となるよう、まずは、休日の学校での部活動は、令和8年度末までとすることとし、令和9年度以降は、地域へ展開します。地域展開に向けて、複数の学校の連携(合同練習等)や各スポーツ関係団体、文化芸術関係団体(既存のクラブチームや各種目の協会・連盟等)との連携を進めていきます。

また、平日の学校での部活動は、令和9年度以降も当面継続します。

大切にしたい、変わらないもの

部活動の地域展開は、部活動をなくす取り組みではありません。仲間と共に目標に向かって努力する時間や、挑戦を通して成長する経験は、これまでと同じように大切にしていきたいです。勝ち負けだけでなく、協力することや継続することの大切さを学ぶ場であることも変わりません。子どもたちが主役であるという考え方を、これからも大切にしていきます。

地域クラブ活動

生涯にわたってスポーツや文化芸術に親しむことができる環境を、子どもたちにしっかりと整えるとともに、地域住民にとってもより良い環境となるようにします。地域のスポーツ・文化芸術活動や学校等の関係者の理解のもとで、子どもたちの活動の場として「地域クラブ活動」を行う環境を整備します。

地域クラブ活動は、学校部活動の教育的意義や役割を引き継ぐ活動であることを踏まえ、一定の基準を定めて、登録・認定を行うなど、適切な地域クラブとして運営されるようにします。



学校部活動の地域展開は、単なる学校制度の変更にとどまらず、地域の意識改革を求めるものです。

これまで、学校の先生が担ってきたスポーツ・文化芸術活動を地域全体で支えるには、子どもたちのために積極的に貢献する市民性(Civic Virtue)が不可欠です。この取り組みは、まちづくり、人づくりにもつながるものであり、「しものせきSDクラブ」はその改革を先導する存在です。



下関市学校部活動地域展開に関する有識者会議
座長 代田 昭久さん

平日と休日で掛け持ちも可能！ あなたに合うのは どのスタイル？

1 一つに専念したい派

平日 学校の部活動で活動

休日 地域クラブで同じ活動を続ける



2 「ニ刀流」派

平日 学校の部活動で運動系

休日 地域クラブで文化系



3 いろいろ挑戦派

平日 学校の部活動で活動

休日 地域クラブで別の活動



やってみたい地域クラブ 人気ランキング

令和6年6月実施 下関市 小・中学生意識調査より



支える人がいて、そして続いていく。

部活動の地域展開は、地域で活動を支える「人」の存在があってこそ成り立ちます。子どもたちの挑戦を見守り、寄り添い、ともに成長する。ここでは、実際に地域クラブの活動をする予定の方の声から、地域展開のこれからを見ていきます。

放課後や休日を、もっと楽しく！地域で支える「子どもたちの応援団」

学校の枠を超えて、地域の中に広がる新しい放課後や休日の居場所。地域クラブでは、さまざまなスポーツや文化活動を通して、子どもたちが地域の大人と出会い、楽しく活動していくことを目指します。

いろいろな種目がある中で、いくつかを紹介します。



将棋

下関子ども将棋教室
栗田 勲さん

将棋の楽しさを子どもたちに伝え、長く続けてほしいという思いで活動しています。

将棋は考える力や集中力を養い、人生を通じて楽しめる日本の伝統文化です。勝ち負けだけでなく、攻めや守りを考えながら判断する経験は、日常にも生きてきます。子ども同士はもちろん、大人との交流も生まれ、世代を超えたつながりも魅力です。一生の友だちのように、将棋に親しんでほしいと願っています。



ダンス

ダンススタジオ ベンチマーク
SHIORIさん

ダンスの魅力をより多くの子どもたちに伝えたいという思いで、地域での活動を広げています。音楽に合わせて自分の感情を自由に表現できることがダンスの魅力で、年齢や経験に関係なく楽しめます。本格的な指導のもとで多様なスタイルに触れながら、自分らしく輝ける場をつくっていきたくと考えています。下関に世界を！ 下関から世界へ！ 仲間とともに新たな挑戦が生まれる環境を育てていきます。



吹奏楽

ISHIN吹奏楽団
内田 あつ子さん

吹奏楽は、学校行事やコンクールにとどまらず、地域の文化祭や祭り、イベントなど、さまざまな場所で音楽を通じて人の心をつないできました。だからこそ、学校の枠を超えて、子どもたちが音楽を続けられる場所が地域にあることは、とても大切です。幅広い世代の人たちと一緒に演奏することで、大きな刺激になり成長します。子どもと地域の笑顔が響き合う。温かな循環を育てていきたいと考えています。





セーリング

下関セーリング連盟
驛場 智樹さん

セーリングの魅力子どもたちに伝えたいと思っています。

風や波など自然を相手にするスポーツで、同じ状況は一つとしてなく、自ら考え工夫する力が育まれます。広い海の上で風を受けて進むスピード感や達成感は、日常では味わえない体験です。安全管理を徹底しながら、判断力や危険回避能力も身につけていきます。海と友達になるような体験を通して、健やかな成長を支えていきたいと考えています。



軟式野球

彦島ベースボールクラブ
山本 健太さん

野球が好きな子どもたちに、思い切りプレーできる環境を残したい。そんな思いから活動しています。これまで部活動が育んできた仲間との絆や成長の機会を大切にしながら、地域の中で挑戦できる場をつくっていきます。指導者には教員や保護者も関わり、資格を持つ指導者の下で安心して活動できる体制を整えています。地域行事への参加など、子どもたちを地域で育て、愛され応援されるチームを目指しています。



俳句・短歌

菊舎顕彰会
古川 裕三さん

俳句に親しむ人が減っている今、子どもたちにその魅力を伝えたいという思いで活動しています。

五・七・五の中に、自分の感じたことや風景を表現する俳句は、日本語の奥深さや感性を育ててくれます。吟行などを通して自然に触れながら言葉を紡ぐ時間も大切にしています。田上菊舎をはじめ俳句ゆかりの地である下関で、地域の歴史や文化に触れながら、俳句の楽しさを広げていきたいと考えています。

さまざまな種目の地域クラブが立ち上がれば、バラエティーに富んだ活動ができます。

下関市の部活動地域展開に関する説明会を開催しています

部活動の地域展開「しものせき SD CLUB」について、市民の皆さんを対象とした説明会を開催しています。「部活動はどう変わるの?」「会費はどうなるの?」「どんな人が指導するの?」など、疑問や不安にお答えします。地域で子どもたちの挑戦を支える新しい制度を知り、一緒に取り組んでみませんか。

詳しい日程などは、市ホームページまたはQRコードからご確認ください。



地域クラブの団体登録を受け付けます!

交流

学校や学年を超えたつながり

出会い

地域の大人との出会い

継続

「好き」を見つけ、続けられる環境

従来からある学校部活動の種目に限定せず、幅広く多様な環境を子どもたちに提供したいと考えています。競技やコンクール以外の趣味・趣向の活動も注目されています。

※認定を受けた地域クラブは、活動経費、学校施設の優先利用、一部事務などの支援が受けられます。

「中学生の活動を支えたい」そんなあなたの思いが詰まった地域クラブが中学生の成長を後押しします。地域で一緒に活動しませんか? ※詳しくは、市ホームページか、QRコードからご確認ください。

関スポーツ振興課(☎231-2739) 文化振興課(☎231-4691) 教育研修課(☎231-2310)